

古田学区 人口: 12,532 人 世帯数: 5,021 世帯 (5月末現在) 古田学区社会福祉協議会 広報委員発行 発行責任者 西本幸男 (☎299-5559)

地域の行事に参加してみませんか

田方夏祭り

場所 田方第一公園
とき 8月4日(土)
午後6時〜

「ご当地ソング」や「ご当地ソング」を踊ろう
子ども会や催事部女性定
番の夜店などがあります。
(食べ物、飲み物、ボールすく
いなど)を予定。当日のお楽しみ

古江盆踊り大会

場所 古江新宮神社境内
とき 8月18日(土)
午後6時〜
地域の青年会と子ども
会、古江新宮神社保存会等
の夜店があります。お楽し
みに!

盆踊りの練習のお知らせ
7月27日(金)と8月10日(金)
午後2時〜5時、古田公民館で
盆踊り保存会が行います。大勢
の参加をお待ちしています!



昨年の様子



「ご当地ソング」のお披露目



かき氷



ヨーヨーつり



綿菓子



ジュース早飲み

第25回 ふれあいひろば

とき 9月2日(日)
10時30分〜14時
場所 古田公民館・児童館

- ☆バザー
掘り出しものあるかな?
- ☆レストコーナー
うどん、かき氷など
- ☆ステージ
練習の成果をご覧ください
- ☆遊びランド
何があるかお楽しみ!



昨年たくさんの人が出会い、ふれあいました
今年はどんな出会いが待っているでしょうか!

ふれあい会食

75歳以上の一人暮らしの方と地域の関係者や民生委員がともに語らい食事をしました。
古江地区
3月23日(金)古田公民館で、大型紙芝居を楽しみました。



プラチナ世代のプロジェクトC「イブニング娘」が熱く演じます
古島カープの物語

田方地区

3月25日(日)田方集会所で、唄と華やかな踊りを楽しみました。



食事のあと、オカリナの伴奏で合唱もしました

「ふれあいサロン」ってなあに?

「ふれあいサロン」とは、地域の皆様の心と心のつながりをより一層広げていただくための「いいこの場」です。
名称も場所も時間、内容も様々で、子どもからお年寄りまでごなたでも気軽に参加できます。現在開催中の「ふれあいサロン」をご紹介します。

いろり

日時 第一火曜日
12時〜14時
場所 古田のおうち
昼食代 500円



おしゃべりというスパイスで、よりおいしくいただけます

問い合わせ 丸山まで

☎273-2363

月一回ですが、古田のおうちの方の手作りの昼食をおいしくいただけます。食事をしながらおしゃべりするだけで、いつも20名以上の人が参加してくださっています。

スマイル

日時 第一・四水曜日
10時〜12時
場所 古田交流プラザ
会費 月100円
問い合わせ 藤槻まで
☎274-4332



様々な年齢層が集まっておしゃべりしながらの手芸

おしゃべりをしながら、ちよっと編み物をしています。幅広い年齢

層! 子育て中のママも参加しています。一本の糸から作品と出会う、人とも出会う楽しさをみんなで味わっていただきます。

ひだまり

日時 第四水曜日
10時〜11時30分
場所 古田公民館
会費 100円
問い合わせ 山崎まで
☎273-4492



あ〜 いい気持ち!

なつかしの童謡を唄ったり、ゲームやクイズで楽しめます。適度の刺激が、生活のハリにつながり、笑いの多いサロンです。
あなたの参加を心待ちにしています。

ゆりの会

日時 第一・三水曜日
10時30分〜12時
場所 古田公民館
お茶代 一回100円
問い合わせ 田村まで
☎272-2412



テーブルごとにトランプの勝負あり、手芸あり...

淹れたてのコーヒーを飲みながらハーモニカに合わせて懐かしい歌を歌ったり、トランプ、折り紙、手芸作品づくりなどその日にやりたい事をそれぞれ自由に楽しんでいきます。

編集後記
今年の夏の楽しみは何と言ってもロンドンオリンピック。日本選手団の活躍に期待! 節電を意識しつつもテレビの視聴時間が長くなりそうです。

平成23年度決算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
古田学区社会福祉協議会
単位:円

収入の部

科目	予算額	収入額	差額	摘要
前年度繰越金	348,573	348,573	0	
各町内分担金	590,549	590,828	△ 279	
西区社協助成金	407,820	397,270	10,550	共同募金配分金、市補助金
活動拠点整備助成金	30,000	30,000	0	いきいきサロン活動助成金
福祉の街づくり費	300,000	260,000	40,000	
地域支え合い体制づくり事業助成金	0	1,000,000	△ 1,000,000	西区社協助成金
地域支え合い体制づくり事業費	0	550,000	△ 550,000	ふれあいひろばより
貯金利息	0	82	△ 82	
雑収入	5,000	5,000	0	共同募金取扱助成金
計	1,681,942	3,181,753	△ 1,499,811	

支出の部

科目	予算額	支出額	差額	摘要
事務費	20,000	12,382	7,618	
会議費	20,000	14,317	5,683	
防犯組合負担金	98,728	99,750	▲ 1,022	1世帯当たり28円
市公衛協負担金	35,260	35,540	▲ 280	1世帯当たり10円
総会費	30,000	11,730	18,270	
研修費	30,000	2,000	28,000	
各種団体助成金	389,000	369,778	19,222	
区民祭協賛金	20,000	20,000	0	
福祉の街づくり費	450,000	363,021	86,979	
古田交流プラザ備品什器購入整備費	0	1,550,000	▲ 1,550,000	
慶弔費	20,000	32,235	▲ 12,235	
広報費	200,000	216,440	▲ 16,440	
通信費	10,000	2,520	7,480	
旅費・交通費	10,000	2,400	7,600	
雑費	10,000	4,850	5,150	
予備費	338,954	133,700	205,254	古田交流プラザ他
計	1,681,942	2,870,663	▲ 1,188,721	

貯金残高	311,090
定期貯金	289,624

提出された決算内容について、監査の結果、正確また適正であることを認めます。
平成24年4月9日
監事 前田 彰 三
監事 阿部 憲 蔵

平成24年度の古田学区社会福祉協議会の総会が、5月19日に開催されました。

そこで承認された決算を報告いたします。

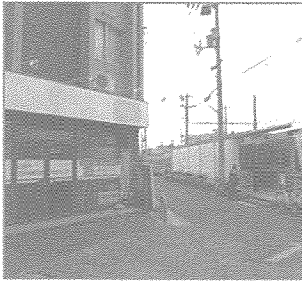
また、本年度より古江上町内会が、古江上一丁目町内会と古江上二丁目町内会の二つに分かれました。

古江のまちに 地域包括支援センターが やってきました

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者の皆さんを、介護・福祉・健康・医療などの様々な面から総合的に支えるために設けられた相談機関で、日常生活圏域(概ね中学校区)ごとに設置されています。各センターには、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などの専門職が配置され、職員はそれぞれの専門性を生かしながら互いに連携をとり、「チーム」として高齢者の生活を支えています。

地域包括支援センターの 業務と役割

(1) 介護・福祉・健康・医療などの総合的な相談
高齢者の皆さんやその家族、近隣に暮らす人の介護や介護予防に関する悩みに対応します。健康や福祉、医療に関することなど、何でもご相談ください。



古江駅の目の前です

(4) 高齢者が住みよい地域 づくり

要介護の高齢者を支える地域のケアマネージャーへの支援のほか、より暮らしやすい地域にするため各関係機関とのネットワークづくりにも力を入れ、様々な方面から高齢者の生活を支えます。

(3) 高齢者の権利を守るた めの相談・支援

高齢者の人権や財産を守るための成年後見制度の紹介や、虐待の早期発見と防止、消費者被害の防止などに対応します。

(2) 自立した生活への支援

要支援1・2と認定された方への支援や、介護予防が必要な方への支援を行います(介護予防ケアプランの作成を利用者と共に進めます)。

悩みをお一人で抱え込んでいませんか?

高齢者の総合相談窓口、「広島市古田地域包括支援センター」へ、お気軽にご相談ください。
営業時間：平日 8:30~17:15 (土日、祝祭日、年末年始を除く)
電話番号：082-272-5173 住所：広島市西区古江東町5番3号 桑原ビル内

- 近所の一人暮らしのお年寄りが、最近閉じこもりがちで、様子も以前とは違う。誰かに相談したいのだが。
- 施設に入るにはどうしたらいいのだろう。施設の種類も知りたい。
- 足腰が弱ってきた。一人で体操をやっていても続かないので、どこかで運動はできないだろうか。

様々な相談ごと

- 介護保険(要介護認定)の申請をしたいが、どのようにすればいいのだろう。
- 退院が近いが、自宅へ帰った後の入浴や掃除などに不安がある。
- 要支援の認定がおりたので、介護予防サービスを利用したい。

介護保険などに関すること

- 訪問販売で不要なものを買わされてしまった。どうしたらよいらう。
- 隣の家から年寄りの大声や泣き声が頻りに聞こえる。心配なので誰かに相談したい。
- 将来的に、自分の通帳の管理やお金の出し入れに不安がある。何かよい対策はないか。

権利擁護に関すること

- 認知症の診断をしてくれる医療機関を紹介してほしい。
- 会社や学校などで、認知症のことを教えてもらえないか。
- サロンなど的高齢者の集いの場を紹介してほしい。

地域での暮らしに関すること

古田学区社会福祉協議会 「福祉のまちづくりプラン」

構想計画スローガン「地域で支え合う、安全で安心な福祉のまちづくり」

- ◎ 古田地域は、古くから新宮神社行事や各種団体行事に、住民はもとより各種団体も地域行事として、積極的に参画・協働しています。地域としてまとまり、また落ち着いた地域です。
- ◎ しかし、近年古田地域にも高層マンションが増えており、町内会に加入しない世帯が増えてきているなど、地域で人間関係が希薄になりつつあります。「地域で支え合える」まちづくりが地域の課題としてなっています。
- ◎ 「地域住民が支え合って、安全で安心して、健康で暮らし続ける事が出来る古田」安全で安心して暮らせる街にしていくには、地域住民全員が自分の住んでいる古田地域のことを考えて働き、地域住民が一体となって取り組んでいくことです。
- ◎ この「福祉のまちづくりプラン」は、地域住民がみんなで支え合い、安全で安心して、健康で暮らせる古田地域をみんなでつくっていくための、5年間の活動計画です。

基本計画

- ☆地域で見守り活動の推進
- ☆交流のふれあいの場づくり推進
- ☆安全・安心なまちづくり
- ☆ボランティアバンクづくり
- ☆地域の環境づくり
- ☆地域住民の健康づくり
- ☆地域住民への啓発活動の推進
- ☆活動組織体制の見直し